



Nakatsue No. 356

広

報

なかつえ



真新しい服に
そでを通し
明るい花びらの
飛びかう道を
ゆつくり歩くと
広がる空は
きのうより青く
通いなれた道が
違ってみえる

人口と世帯数

(3月末現在)

人口	1,423人(- 8)
男	682人(- 2)
女	741人(- 6)
世帯数	474戸(- 1)

96/4

発行 / 中津江村

編集 / 企画課

みんなが主役！ 15億9,500万円の 平成8年の 予算の中味

春、四月。入学や就職など人生の上でも節目の季節。そして四月は役所の暦の上でも新しい年度のはじまりです。

三月に行われた村議会で決定した平成八年度の村の予算は十五億九五〇〇万円。予算は村政の意向を金額で表わしたものだ。これが村民みなさんに直結していかなくてははいけません。大分県で人口の最も少ない村ならではの智慧を絞って、よりよい村づくりのためのお金になるよう努力してまいります。

当初予算についてなどと言うと、どうも堅苦しくなりがちですが、今年の子供も入学だし、そろそろ車も買い替えたいんだけどといった家計のやり繰りと同じです。

平成八年度、村の予算は十五億九、五〇〇万円、前の年とほぼ同じ額となっています。予算のたて方はそれぞれ課が、必要な経費を積みあげて、それに見合う収入をどこからいくらもってくるのかと、いささか複雑ですが、あくまでも皆さんが主役です。少しでも目を通してみて下さい。では出ていくお金を中心に、課ごとに見ることにしましょう。

議会事務局

村議会の運営や選挙の事務などを行っている議会事務局では、議員の報酬など議会費に約五千万円を計上しています。また、今年村長選挙の年でもあり、選挙費の中に百二十万円余りの経費をあげています。

総務課

職員の給与や福利厚生に関する事から、役場庁舎管理や人事、財政、村の財産の管理、村営バスの運行に関する事、交通安全対策、そして消防防犯事務と幅広い事業を扱う総務課。今年度は大きな事業はありませんが、三月に完成した交流

促進センターの管理が総務課になります。その管理運営費として百五十万円程予算化されています。昨年度新しくなった村営バスの運行に一、五〇〇万円、消防費全体で三、九〇〇万円、役場庁舎の管理費一、一〇〇万円などが大きな予算となっています。



▲交流促進センター

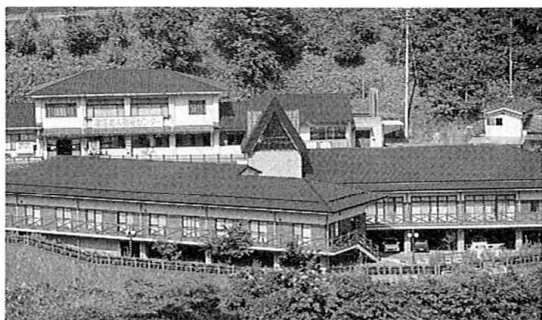
企画課

四月から「企画課」と改められたこの課では、村の総合的な将来計画の策定や水資源問題の取扱い、過疎対策や山村振興に関わる事業を行っています。三月には新しい基本計画・基本構想が策定され、今後五年間

の村の基本的な姿が示されました。山村振興事業では中川内地区の公民館建設などに六、一〇〇万円を計上しています。企画ではその他に国際交流事業として国際交流員の経費六七五万円、ふるさとづくり推進のため各種団体の行いイベントに補助金を三〇〇万円程支出する予定になっています。役場のコンピュータの管理や広報の発行、各種統計の事務も企画課で担当して、ほぼ昨年並の予算があげられています。今後、現実を促した将来構想など企画本来の仕事が期待されます。

住民課

戸籍や住民票、国民健康保険、保健衛生や環境問題上・下水道、そして年金や福祉行政など、住民と一番身近な課です。特別会計で事業を行っている簡易水道では、昨年ひき続き、八所・二又・小園・辛味地区の水道の新設を計画しており、約四億二千万円が計上されています。水道事業だ



▲高齢生活福祉センター

けでは予算に不足を生じるため、一般会計から七千万円余りを繰り入れることにしています。
福祉関係では老人福祉センターの運営に五〇〇万円高年齢者生活福祉センターの運営に四、〇〇〇万円をそれぞれ委託する形で支出する事になっています。
衛生費では、予防注射や母子健診、一般健康診断やガン検診などを行う経費が計上されています。また、老人保健特別会計へ九六〇万円程繰り出されています。住民課では、このように一般会計の他に国民健康保険、老人保健、簡易水道の三つの特別会計の仕事も行っています。

税務課

各種税金に関するこの事務を行っているのが税務課です。国土調査に係る事業も扱っており、後でふれる税の収入の面にも大きく影響しています。歳出面では、地積のコンピューターのリース料四二〇万円余りが大きいもので、固定資産の評価替業務の委託に二七〇万円、職員の人件費などが計上されています。

産業課

農業及び林業の振興に関する仕事、中津江の主幹産業に関する業務を行っているのが産業課です。また、行政外の業務の事務局として、漁業協同組合、猟友会生活改善グループなどがあります。

農業振興の面では、農業委員会関係で九五〇万円、畦畔コンクリート整備費として二五〇万円余り、また営農指導など農協への助成金も前年度同様に計上されています。認定農業者を軌とした対策にも予算があげ

建設課

建設課では、道路の維持管理の他、堤防や橋梁に関すること、林道の開設や、これらが災害を受けた場合の復旧に関する仕事を行っています。現場作業のイメージがありますが、最近では、コンピューター等の導入によりかなり省力化されているようです。また、村営住宅の建築、維持・管理も扱っています。

予算的には、昨年引き続き林道作草黒谷線の開設に約五、〇〇〇万円、鉱害防止事業に三、七〇〇万円、村道巢山線の舗装一、四〇〇万円、新規事業として村道黒谷線の高橋整備事業に約七、四〇〇万円を計上しています。また現在十八棟

教育委員会

ある村営住宅ですが、今年度、栃野ニュータウンに高所得者でも入居可能な住宅三棟の建築を予定しており、約五、〇〇〇万円が計上されています。

教育委員会の事務内容は大きく分けて、学校教育、社会教育になります。昨年統合した小学校の管理に、約一、〇〇〇万円、中学校を管理する中学校組合へ四、四〇〇万円余りを負担金として計上しています。社会教育では、公民館講座の開設のための費用や青年団、婦人会など社会教育団体への補助金なども計上しています。また海洋センターの管理も教育委員会で行っており、本年度一、三〇〇万円程度の予算が組まれ、社会体育関係予算と合わせて、多様な活動が期待されます。

鯛生金山

中津江観光の要、鯛生金山の昨年度の入坑者は、約十五万三千人。平成八年度

は入坑客十一万五千人を基準に、前年より五パーセント減の三億九、一七〇万円の予算で運営するようになっていきます。人件費を主とする総務管理費に約三千万円、家族旅行村の運営に一、八〇〇万円、スポーツセンター運営に約六、三〇〇万円、そしてレストハウスの運営に人件費を含め一億八、四〇〇万円が計上されています。

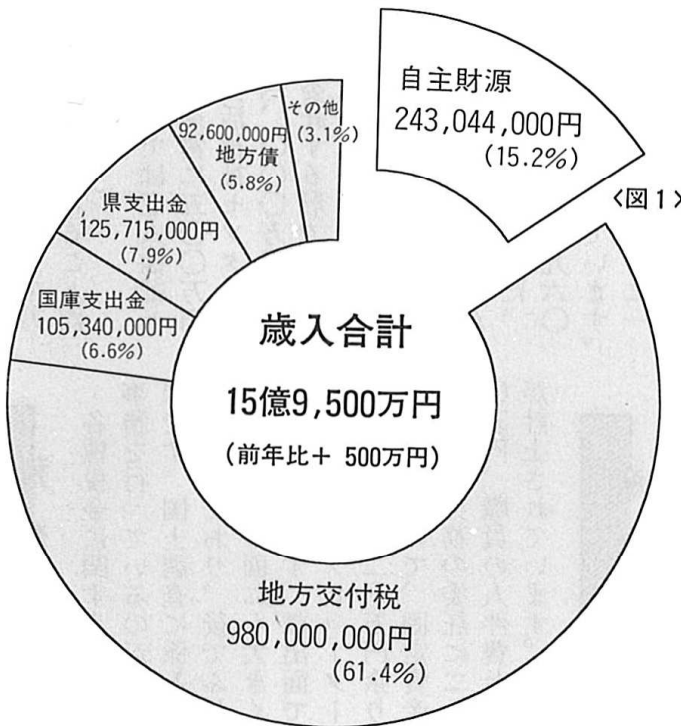
収入の主なものは、入坑料、旅行村、スポーツセンターなどの使用料が一億七、九〇〇万円、レストハウス収入分一億八、四〇〇万円が計上されています。

鯛生金山では、施設のリニューアル(再生)事業を計画しており、準備としての予算も組まれています。減少しつつある入坑客に歯止めをかけ、新たな魅力あるテーマパークとして生まれかわれる様、充分な検討が必要でしょう。



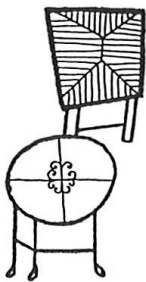
収入は
どうなっているの

各課から出された事業の計画やそれに伴う予算。これが思うとおりにお金の工面がつけば言うことはないのですが、なかなかそう、うまくはいかないものです。では、出て行くお金に見合う収入はどうなっているのでしょうか。財政に余裕のある所は別として、中津江のように小さな村では、村自体で自主的に収入すること

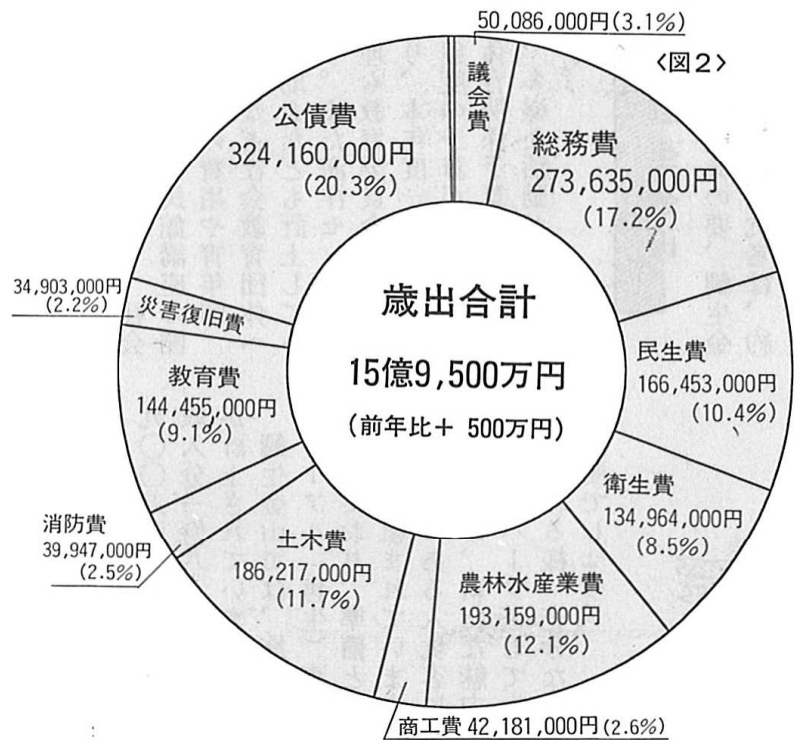


のできるお金、自主財源はわずかです。今年度の自主財源は村税一億二五〇〇万円、その他と合わせても、二億四三〇〇万円程度で全体に占める自主財源の割合は十五・二%でしかありません。逆に国からある基準で交付される税金、地方交付税は金額にして九億八〇〇〇万円、全体に占める率はなんと、六一・四%になります。その他、事業を行う際に国や県から、一定の補助金が入ってきます。そ

れでも足りない分はどうするのか。これも家計と同じで、今年は車を買うのをやめておこうとなるわけですが、どうしても今年やっておかなければならない事業もあるわけで、そういう時には、最終的に借金(財政的には村債)をする事になります。今年の村債は、総額で九二六〇万円の予定です。出ていくお金のところでは触れませんでしたがこの村債の利子・元金の返済として三億二三〇〇万円程、支出することになっていきます。この村債の返済については、先に述べた地方交付税で返ってくる分もありますが、借金にかわりはありますが、使い方には十分な考慮が必要です。今年の村債は、林道開設に二七〇万円、村道関係に五七〇万円、公営住宅の建築に一七二〇万円となっていて、前年より二七八〇万円少なくなっています。



いずれにしても、他からの収入、依存財源に収入の大部分を頼っているわけですから、その使い道は慎重に決定しなくてはなりません。重要な事業にいかにか上手にお金を使うかが、大きなポイントとなります。言わば、村の今後を促した将来計画がきちんとしてこそ有効な予算執行ができるのではないのでしょうか。



Uターンのための新規事業や若者定住のための住宅の整備、ソフト面でも文化振興のための村民ホールの運営、人材育成のための研修費など魅力的な事業も予算に盛り込まれています。これらをいかに組み合わせ、効果的に展開していくか、今後ますます、その行政手腕が問われていくこととなるでしょう。

村補助金の調査の結果について

平成七年十二月定例議会で、干害応急対策工事補助金について「不正に取得されているのでは」と、一議員の方から一般質問がなされていましたが、干天続きで起きた応急的事業だったことなどから、施工業者が請負代金のうち、労務費の一部について、その取り扱いのまずさから疑義を招いたものでした。

議員の方々の議会報告などでは村民の皆様には村の補助金について不信をもたれた方もいたかと思いますが、現地調査をしたところ辛味地区干害応急対策事業は予定通り完成されており、請負代金の受け渡しについても特に問題はなく処理されていたことを報告いたします。

ルールを守ろう！遊びも運転も！



交通安全 グレースポール大会

高齢者の交通安全に対する意識の啓蒙を図ろうと、四月十日、日田市の老人福祉センターにおいて十回目となる交通安全グレースポール大会が開催されました。交通安全協会と日田警察署が主催する、この大会には、日田市郡内から四十四チームが参加。中津江村からも二チームが上位入賞をめざして参加していました。相手は日頃親しんでいるゲートボールですが、コースの途中に設けられた横断歩道や安全地帯に四苦八苦。決勝へは進出できなかったものの、ゲームを楽しみながら、交通安全の事も再確認できたようでした。

○春の行政相談

5月19日～25日は、春の行政相談週間です。

役所の仕事について納得できないなど、行政に関する苦情をお聞きします。

相談は無料で、秘密は厳守します。お気軽にご相談下さい。

日時／5月22日
午前10時～午後3時

場所／中央公民館
相談／行政相談員

中津江村長選挙日程について

任期満了に伴う中津江村長選挙が、下記のとおり執行されます。

- 立候補予定者説明会
5月10日(金) 午前10時より
中津江村役場会議室
- 選挙期日の告示
5月21日(火)
- 中津江村長選挙期日
5月26日(日)

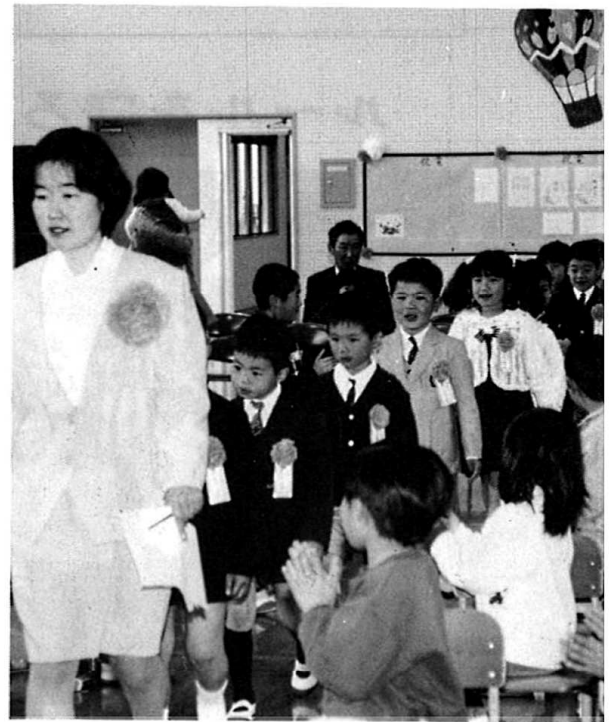
夢と希望を胸に……それぞれの春

誕生

新一年生



ようやく桜の花も開きはじめた四月十日、それこそ花冷えのする中津江小学校の体育館では、統合二年目の入学式が挙行されました。式の直前まで、学校の廊下でふざけ合っていた新入生も、さすがに本番は多少緊張気味。一人一人が名前を呼ばれ、大きな声で「ハイ」と返事をし、後ろの先輩たちを見た時、本当に小学生になったんだという気になったのでは。



普段よりちょっとおめかしをして登場した新入生、今年男子七人、女子四人の十一人。みんな保育園での友達ということもあってそれ程の感激（親は別として）はなかったようです。統合しても全校七十五名と、驚くほど多くなつたわけではありませんが、みんな一緒に学校に行けるのはやはり楽しいようです。また四月五日には、なかつえ保育園で入園式が、九日には津江中学校で、こちらには統合後四回目の入学式が行われ、それぞれの想いを胸に、それぞれの春が開いたようです。以前は当り前だった入学式も、子供が少なくなるとつれ、一大



行事となつてきているようです。人口が少なくなると同時に人の心の中にも過疎が生じてこないよう、若者が住みやすい将来を見据えた村づくりをやっていくなければなりませんし、今後は予算にもより明確に反映していかなくてはならないでしょう。



田中智根助役

はじめまして…

三月末日付で退職された井上助役にかわり、四月一日より新たに助役となられたのが田中智根氏です。田中助役は昭和十九年生まれの五十一歳。大分市の出身で昭和五十五年に県庁に入り、東京事務所総務課長などの要職を経て、三月までは県の農政部でその手腕をふるっておられました。日田の方へは始めて来られたという事で、現在、栃原の住宅に住み、村民の一員です。四月早々から村内の各地域を回っておられますが、中津江村に新風を吹き込むとともに、和をもつて中津江村の発展にがんばって下さい。

役場の

ニューフェイスです

ぼくたちが見つめる未来の農業 vol.2

“中津江村の未来の農業”

中津江小学校 5年 石川 明音

私は、中津江の未来の農業に工夫したら、いいと思いました。

今の、中津江には、高齢者が多いために、菌床しいたけ作りがさかんになっています。

ですが、他のさいばいで考えてみると、高齢者の人たちが、大変つかれる仕事ばかりです。

私は、その中のきゅうりさいばいについて、考えてみました。

今では、高齢者でも、毎日のように、仕事をしています。

そのために、何か行事があったとしても、ぬけ出す事ができません。

この事を考えて、ロボットを作ったら、いいと思いました。

外出している時にも、仕事を変わりにしてくれるのです。そのロボットは、出て行く前に、「これを、何時何分にして。」

と言うだけで、その通りに何の仕事でも、してくれるのです。

もし、水まきだとすると、自分でもっているホースで、水をまくのです。

それは、役場に二十台位おいてあり、一日に千円位で、貸します。

そしたら、使う人たちでも、あまりお金が、かからないので、いいと思います。

私は、こういうふうにしたら、いいと思いました。



『認定農業者』 16人の集団に！

大人も、もちろんガンバります



▲新たに認定された3人

3月27日、平成7年度2回目の農業経営改善計画の認定式が役場で行われ、3人の方が新たに認定農業者とられました。昨年3月に第1号の認定者が誕生して、今回で実に16人の方が農業のプロを目指して、新たな道を歩み出されたわけです。

認定農業者制度は、プロを目指す農業者の計画を正面から、また側面から有効な手段で支援してゆこうというもので、大分県下でも多くの方が認定農業者となっています。中津江村でも、やる気のある農業者の参加をまだまだ受付けています。詳しくは産業課まで。

◎認定農業者 (敬称略)

- 水野 武 (二又)
- 平 東洋和 (平)
- 武原 香 (田ノ口)

イアンの“風”

by Ian Cufley

『家族のことについて』

日本人たちと話をしていると、会話がよく家族のことになります。今月のイアンの風では、私が見たイギリスと日本の家族についての違い、イギリス人は家庭のことをどう見ているのか、年老いたときどうなるのかなどについて書きたいと思います。

私の家族の場合、おばあちゃん（私にはおばあちゃんしかいませんが）は今81歳ですが、まだ元気でひとり暮らしをしているし、それ以外の生活はがんとして認めません。また、私のひいおばあちゃんも90歳代まで、ひとり暮らしをしていました。おばあちゃんは最近はかなり年をとったので、もしものときは両親の家の近くに引っ越すことがみんなで決められましたが、彼女は今でもすべて自分のことは全部自分でできます。

こうした状況は、私の国ではとても普通のことです。もし年老いた両親が病気になったときには、子供と一緒に暮らすこともあります。その時でさえ子どもたちは、両親を老人ホームに入れることの方を望みます。もっと最近の状況では、年老いた人たちがもっと独立した生活ができる、管理人がいる宿泊施設があります。これは、それぞれの部屋に必要なものがそろっているアパートの集まりですが、みんなの面倒を見てくれる管理人も住んでいるので、独立と安心が両立しているわけです。

年老いた両親の面倒を見るのは、長男の責任ではありません。実際、一番上の子供に、特別な意味はありません。イギリスでは普通、年老いた両親は死ぬまで子どもと別に暮らしています。両親が亡くなると、子どもが家を継ぐことよりも家を売って、そのお金を子どもたちで分けるのが普通です。今では、家を次の世代に継ぐのは貴族の場合だけです。

（貴族も今ではとても少なくなっています）

イギリスでは日本と違って、引っ越すことは生活の一部といってもおかしくありません。若い夫婦は小さな家で生活を始め、収入や家族が増えるにつれ、家のサイズも大きくなります。イギリスでは、家は長い間残されていますから（百年以上たっても壊す理由は見つかりません）、古い家を買うことはとても普通のことです。たまに家の中はきれいに模様替えをしますが、建物自体はそのままです。

イギリスとほかの西欧諸国の家族の形態は、私の目からも少し不公平だと思います。日本やほかのアジアの国々では、年老いた両親と子どもたちが一緒に暮らすことは、子どもの頃長い間面倒を見てもらったお返しのようなものです。こうした日本の家族形態はいいと思うし、公平だと思いますが、私の両親が年老いたとき面倒を見たいとはあまり思いません!?

敬老年金受給者の方へ

4月に支払われる敬老年金をあなたが指定した津江農協の口座に振り込んでいます。今日の支払いは6ヶ月分です。一度、口座を御確認下さい。なお、お問い合わせは住民課福祉係へどうぞ。

小作料の標準額について

中津江村農業委員会では、4月1日付けで、小作料の標準額を次のように定めています。詳しくは産業課内の農業委員会事務局へお問い合わせ下さい。

- ・農地の区分一田の部
 - 中津江村全域
 - ・小作料の標準額—12,000円
 - ・備考
 - ・主たる作物—水稻
 - ・単位面積当たり収量
 - 390kg/10a
- (自主流通米割合7割)

電線にご注意！鯉のぼり

お子様の健やかな成長を願う鯉のぼりは、大空に雄々と泳がせたいものです。そのためにも次のことにご注意ください。

- 鯉のぼりは電線から十分離れた所に
- ポールを立てる時、倒す時、電線にふれないように
- 万一、鯉のぼりが電線にかかった場合、最寄りの九州電力営業所へご連絡下さい。

お知らせ

年金の保険料について

高齢化社会において、長期的に安定した年金制度を維持していくためには、年金の給付と保険料のバランスを保っていくことが必要となります。

このため、国民年金保険料は4月から月額12,300円になりました。国民年金加入者の皆様のご理解をお願いします。

宝くじ福祉号配置

高齢者が明るく、健康な生活を送るためには、福祉の集いや各種大会などに積極的に参加できるのが重要な課題です。こうした高齢者の足ともなるべく、住民課に移動用車輛、宝くじ福祉号が配置されました。これは平成7年度の宝くじの助成を受けて整備したもので、高齢者への巡回や訪問にも、今後活躍が期待されます。

緑の募金にご協力を！

緑の羽根として親しまれてきた緑の羽根募金が「緑の募金」として新しくスタートしました。皆様から寄せられた募金は、従来の緑化の推進とともに、森林づくり活動や姉妹都市等との緑

の国際協力などにも使わせていただきます。皆様のご理解とご協力をお願いします。

銃の初心者取扱講習会

猟銃及び空気銃の取扱に関する初心者講習会を次のとおり開催します。

- ・開催日時
 - 5月29日、午前8時30分から
- ・開催場所
 - 大分県庁共同庁舎会議室
- ・受講対象者
 - 大分県に住所を有する者で、新たに猟銃及び空気銃の所持の許可を受けようとする者
- ・申し込み

5月22日までに日田警察署に申込手続きをして下さい。

※詳しくは日田警察署生活安全課へお尋ね下さい。

(TEL23-2131)

4月は土地月間です！

土地の投機的取引や地価の高騰を抑制し、乱開発を防ぐため一定面積以上の土地取引をする場合は事前の届出が必要です。

1万㎡以上の土地について、売買、交換、譲渡などを行う場合、国土利用計画法にもとづいた届出を行って下さい。届出をしないで土地取引をしたり、為りの届出をすると法律により罰せられます。

問い合わせ先

役場企画課 (54-3111) へ

|| 慶 弔 ||

◇お誕生おめでとう

ごぞいます

鯛生 大澤 風五くん (幸生)

宮園 永瀬 雄大くん (英治)

二月十六日生
四月八日生

◆お悔やみ申し上げます

田ノ原 橋本 キミ子様

〔御寄付お礼〕

■社会福祉協議会へ

〈香典返し〉

奈須 隆彰 様……

橋本 豊年 様……

秋好 正一部様……

川辺公民館へ

見舞返し

影木 辰男 様……

田ノ原公民館へ

香典返し

橋本 豊年 様……

三〇、〇〇〇円

三〇、〇〇〇円

三〇、〇〇〇円

三〇、〇〇〇円

源流の民としての自覚

未曾有の災害をひき起こした平成三年の台風が直撃したまさにその年、福岡YMCAによる森林キャンプがスタートし、今年三月末の森林キャンプで実に十回目の開催である。また台風直後に始められた山の刈りや植林などの森林ボランティアも春と秋の実施で、今年春の植林までの間、ヒノキ五万本、ケヤキ二千本を植林、延べにして四五〇人のボランティアが参加している。

力が森の再生に果たす影響は小さいかもしれないが、受け入れる側としての我々が水を育む森を再認識でき、都市の住民が少しでも森の持つ意味に興味を持てるならば、この事業も大きな意味を持つことになる。今回のキャンプの参加者からは村の子供達に環境に関するテキストのプレゼントもあった。「ぼくらの夢を植えた」という参加者の植林が森になる頃、その夢が大きく膨らむことだろう。

こうしたボランティアの



蜂の巣湖桜まつり

森林ボランティア事業



▲10回目を記念した植樹

なかなか暖かくなならない今年の春に、桜のつぼみも花を咲かせる時を今か今かと待っていたようです。

今年で九回目の開催となる「蜂の巣湖桜まつり」は四月七日、二分咲きの桜の下、交流の輪を広げるように行われました。

「蜂の巣湖畔でつなごう流域の輪」をキャッチフレーズに、筑後川の源流地区である中津江村と、この水資源に関わりのある下流域の人たちとの交流を深めていこうという主旨ではじめられた桜まつりも恒例行事となり、桜の花につられるように通りがかりの観光客も足を止めていました。

会場では、だご汁やかつぼ酒がふるまわれ、ステージで練り上げられる金山太鼓の演奏や浪曲、生バンドでのカラオケなどに、交流の輪に花が咲いていたようです。

つれづれ

「花の色はうつりにけりないたずらに」と詠った昔の人たちには、移り変わる季節を歌にして楽しむ余裕とセンスがあったのだろうか。今の時代のように、いつでも何でも揃う世の中では、色を楽しむ余裕は生まれないうのかもしれない。

店頭に並べられる雑誌にはゴールデンウィークの特集はすでに影をひそめ、今年の夏の流行の水着の記事などが目立つようになってきた。まだ本格的でない春を通り越して夏を先取りする感覚であるうが、風流にもニュートレンドにも疎い私たちの世代には縁遠いようである。季節を感じるのはやはり、食堂の「ざるそば始めました」の貼り紙くらいなものかもしれない。

春の長雨に、物思いにふける小野小町には、今の世の中はどう映っているのだろうか。そういえば、きれいな時期の桜の花も見つめることなく、新緑が芽吹き始めている。